

質問時間60分

椎名 義光 議員

多古中央病院と開業医との連携ができないか

連携をするための体制を整えたいと考えます

病院の今後について

問 公立病院改革のガイドラインによって全国の自治体病院は経営効率化の数値目標を入れたプランを、今年3月までに策定することが求められています。多古中央病院は、どのような改革プランを考えていますか。

町長 まだ具体的には着手していません。平成21年度に策定の予定ですが、国が平成19年12月に示した公立病院改革ガイドラインは、地方公共団体が公立病院改革プランを策定する際の指針として示されたもので、法的な強制力はないものと理解を致しています。多古中央病院の果たすべき役割は、地域住民の入院医療、救急医療の提供であり、自治体が計画する各種健康事業、他の医療施設や福祉施設との協力、連携が必要と認識をしております。

問 今後の方向性として、多古中央病院の施設、設備の優れたものがあるという中で、これら結びつけて、開業医の協力により連携が出来ないものか、町長の考えを伺います。

町長 ご指摘の点は多古中央病院が存続をしようとする中で重要な事項だと認識を致しております。患者さんの窓口をまず開業医から次に中央病院にとうかたがとればいいんじゃないかなというのも、開業医の方々もそうですし中央病院の医師側からも要望が

ある状況でございます。以前には開業医と多古中央病院との連携をするための協議会が機能していた時期があったわけですが、再度そういう体制を整えたいと考えています。



地域連携が期待される多古中央病院

成田小見川鹿島港線整備について

問 県道44号線改善整備事業で、流末まで含めた対策がどの程度出来るのか伺います。

町長 成田小見川鹿島港線整備については17年度に十余三地区で県道44号線整備促進協議が設立され、千葉県は、18年度より事業化し、現況測量、19年度に路線測量を実施し、20年度は道路予備設計を実施しています。この道路予備設計では、道路設計、歩道計画、道路排水計画等を基本に検討する中で、排水整備を取り入れるべき検討をされております。そこで、排水計画においては地

域の土地利用、地形等から排水

浸水想定箇所等の検討等の作業を実施致しております。今後の予定として、道路整備につきましては国の交付金事業として要望しており、平成21年度に道路詳細設計、用地測量が計画されており、道路詳細設計の中で排水整備の具体的な計画が立てられるものと考えております。地域排水対策の考え方についてはあります。現在、千葉県において道路予備設計を実施しており、道路排水整備計画を基本にし、併せて地域の雨水排水対策の検討作業を実施しています。

問 県のできない部分があれば、町単独の地域排水対策事業で対応することはできないか。

町長 十余三の地域につきましては、農業集落排水をやる時点で、やはり流域排水の問題が大きく取り上げられた経緯もありますので、町としては充分認識した上で対応していきたいと考えています。

質問時間60分

広瀬 弘二 議員

財政調整基金の取り崩しが増えているが財政運営の基本は何か

町民に隔たりのないバランスのとれた配分に努めています

平成21年度予算編成について

問 世界同時不況の中で税収が減少しており、来年度の住民税はさらに減少が予想されます。このような中で21年度予算は前年度より歳出は増加させ財政調整基金からの繰入れを2億円も増やしています。財政運営の基本をどのように考えていますか。

町長 町税や地方譲与税、各種の交付金は大きく減少するものを見込んでいます。平成21年度当初予算編成に際しては町民に隔たりのないバランスのとれた配分となるよう、また、個別事業については集中して短期間に行うことでより効果があがるよう、新規事業については、住民ニーズや時代の要請を考慮し、優先順位の高いものから、既存事業についてはその効果や後年度の財政負担等を総合的に検証すること等、既成概念にとらわれな

通学路の防犯灯設置について

問 町長の挨拶の中で重点的なものとして通学路の防犯灯の設置がありました。予算は昨年度とまったく同じ金額なのに重点というはおかしいのではありませんか。

町長 県道の場合は成田整備センターにお願するというルー

トもあり、県にも要請し努力をしたいと考えています。

多古台開発について



造成計画作成のための測量調査が行われる多古台住宅団地予定地

問 多古台住宅団地の開発について業者を選定したあとはどうなっているかお聞かせ願いたい。また、町としての公共用地のプランは作成してあるのか。

さらに、この経済状況の中では1,000戸もの住宅がすぐに建てられるとは思えないので、管理上からも例えば酪農組合に牧草栽培用地として利用を促す、また、商店街用の駐車場を作り商工会にシャトルバスの運行を計画していただくなど、暫定的な利用方法を考えたらどうでしょうか。

町長 昨年12月の全員協議会で了承された株式会社社長谷萬は詳細な造成計画を作成するために必要な現地の測量作業の準備をしていると聞いてい

ます。株式会社社長谷萬は21年度中には開発許可を受けたいとしており、そうなれば大型の重機が現場に入ることとなり暫定利用は難しいものと考えます。公共用地の特定については役場内部で多古台に設置すべき公共施設とその位置や規模について精査をしております。早急に決定したいと考えています。

問 東京のマンションが値下げしてもなかなか売れないという状況にあるようですが、業者が一応選定されたとしても計画が頓挫する可能性もあります。破産したときか計画通りに進まない場合にはどう対応するのかという契約をきちんとして、焦らずに進めてほしいと思います。

町長 担当課で開発者との提案を受けるべく調整をしているわけですが時節柄厳しい状況にありますので細部に渡り協議をしようとしているところです。

